

各地区競技会委員長・各部会代表 各位
バスケットボール関係者 各位

【新ルールについて】

2019年4月より新ルールにて各種大会が実施されることと思いますが、(一財)北海道バスケットボール協会競技会委員会としまして、下記の部分についてご連絡をさせていただきます。

つきましては、各地区・部会での周知をお願いいたします。

◆2018FIBA新ルール変更点20190206より

第4条 ユニフォーム一身につけるもの

チームで身につけるすべてのものは同一の単色かつ無地でなければならない。

＝腕や脚のコンプレッションスリーブ、ヘッドギア、手首や腕のバンド

＝同一の単色かつ無地でチームの身につける全てのもの

《北海道バスケットボール協会より》

2019年度について全道大会レベルでの採用はしないこととする。ただし、全国大会はこのルールが採用されることになっています。

◆JBAプレーコーリング・ガイドライン(20190401)より

・ゲーム中のコーチによるプレイヤーへの暴言・暴力行為に対する対応方針

(ガイドライン)

JBAではインテグリティの精神(誠実さ、真摯さ、高潔さ)に則り「クリーンバスケット・クリーン・ザ・ゲーム」を推進していきたいと考えています。これはゲームに関わるプレイヤー、コーチ、レフェリーすべての協力でゲームの価値を高めようとする取り組みであり、ゲームを尊重する「リスペクト・フォー・ザ・ゲーム」にそったものでもあります。

バスケットボールのゲームは、ゲームにかかわる関係者のみならず、観客の存在もかかすことはできません。プレイヤー・コーチ・レフェリー、観客も含めてゲームの価値を高める努力をすることが必要です。そして、そのためにはコーチの振る舞い(行動や行為)も非常に重要になってきます。コーチの振る舞いは、ゲームに関わる関係者(プレイヤー・レフェリー)に直接影響があるだけでなく、ゲームを見ている観客の方々にとっても大きな影響を与えます。

そこで、コーチの振る舞いについてある一定の基準を設けてテクニカルファウルの対象とし、ゲームの価値を下げない取り組みを推進することとしました。

【テクニカルファウルの対象となる振る舞い（行動・行為）】

1. コーチのプレイヤーに対する暴言

(1) 人格・人権、存在を否定する言葉

〈具体例〉最低、クズ、きもい、邪魔、出ていけ、帰れ、死ね、てめえ、
この野郎、貴様

(2) 自尊心を傷つける、能力を否定する言葉

〈具体例〉役立たず、下手くそ、アホ、バカ

(3) 身体的特徴をけなす言葉

〈具体例〉チビ、デブ

(4) 恐怖感を与える言葉

〈具体例〉殴るぞ、しばくぞ、ぶっとばすぞ、帰りたいの？、試合出たくないの？

2. コーチの暴力的（攻撃的・虐待的含む）振る舞い（行為・行動）

(1) 殴る・蹴るなどを連想させる行為

(2) プレーヤーと近接（顔の目の前、腕一本分より近い距離）して高圧的威圧的に指導する行為

(3) 「おい」「こら」と大声でプレーヤーを高圧的威圧的に指導する行為、いわゆる怒鳴りつける行為

(4) 継続的、かつ、度を越えた大声でプレーヤーを指導する行為、いわゆる怒鳴りつける行為

(5) 物に当たる、投げる、床を蹴るなどの行為

3. 第三者が不快と感じる振る舞い（行動・行為）

(1) 不潔な服装、裸足やスリッパでの指導

〈北海道バスケットボール協会として〉

上記のような問題については、各部会（カテゴリー）でも問題になっている点かと思えます。内容を各地区・各部会で十分に周知して頂いた上で、大会を実施して頂きたいと思えます。対象になるような言動、振る舞いがあった場合は審判よりテクニカルファウルとなる場合がありますので、よろしくお願ひします。